

緑風

学校教育目標

やさしく

たくましく

英知を磨く 緑風の子

名護市立小中一貫教育校

緑風学園

名護市字汀間122番地

TEL0980-55-8113

児童生徒159名・職員41名

発行 校長 島袋克也



ふるさと学習

「地域の豊かな自然の恵みを、心と体にたっぷり受けさせ、足元をしっかりと見つめ、大切なことに気づけるきっかけをねらい」に！

5月15日（金）に5年生から9年生まで自然体験学習を実施した。

5年生は「食」 6年生は「海」 7年～9年生は、「海から見るふるさと（再発見）」を主題とした活動を展開。体験学習は、汀間漁港所属の大城さん他5名、わんさか大浦パーク、シュゴンの里（代表東恩納さん）、エコネット・美ちゅら、沖縄チュラ島財団、安部区の荒木さん、嘉陽公民館区長さん、保護者の皆様の支援で安全で無事成功裏に実施することができた。

ふるさとをしっかりと見つめさせ「ふるさとを愛する子」をしっかりと育てたい。



二見以北民生委員の学校訪問



体験学習の一コマ



5月19日（火）に二見以北十区の民生委員の学校訪問があった。

学校訪問は朝七時半頃から登校の様子、朝の活動の様子等の子ども達の活動に声をかけながら和やかな参観し、子ども達の学校の様子等の意見交換を行った。

民生委員の皆さんは、子ども達の安全に登校できるように普段からのスクールバスの乗車の指導や校門での身もまりの活動も行っている。

台風6号襲来 「混乱!？」

台風6号襲来!! 5月12日（火）の午前8時前に暴風警報が解除になった。と同時に学校に登校の問い合わせの電話が殺到した。

学校の対応として、前日に文書で8時30分までに解除になった場合は速やかに登校するよう周知をしていた。ところが、暴風警報時の学校職員の対応として、公共のバスが停止の場合は自宅待機の措置をとっている。そこで台風6号から危機管理の対応の難しさを露呈。対応策を検証するために下記のアンケートを実施。

台風時の連絡等の児童生徒の回答(人数)

項目	合計
① 学校から配布された「お便り」に書いていた通り登校した。	37
② 学校の安全・安心メールをみて登校した。	53
③ 先生から連絡(電話)があったので登校した。	42
④ ラジオやテレビを見て(聞いて)登校した。	50
⑤ 友達から電話で聞いた。	27
⑥ 親が学校に電話をして聞いた。	23
⑦ その他	12

右の数字は複数回答

アンケートより、登校の連絡等は、「学校の安全・安心メール」が保護者へのお知らせには有効かなと思われる。この機にお知らせの在り方を十分に吟味していきたい。